



小林市立永久津小学校 校長通信

令和7年7月10日 第65号 (文責 校長 吉井秀一)

TEL: (0984) 23-3515 E-mail: nagakutukko@miyazaki-c.ed.jp

6月の参観日にもたくさん

ご出席いただきました。お子さんの様子はいかがだったでしょうか。これまで学校に通った日数は約70日。もう今の学年の三分の一を過ぎたことになります。

ちょうど参観日の日には、今年の梅雨明けが発表されました。こんなに早い梅雨明けは70年ぶりのことだとか。いよいよ「熱中症」の心配が大きくなります。学校から配布した冊子をお読みになられましたか。子どもの「熱中症」が注目されるようになったのは、不幸にも命を失う事故が起きたからです。軽く考えないで、しっかりと予防しましょう。

今年も暑い(熱い)夏休みとなりそうですが、事故やけがには十分注意して、楽しく安全に過ごしてくれることを願っています。

子どもを幸せにするには

5月14日付けてユニセフから先進国の子どもの「幸福度ランキング」が発表されました。それによると日本は、総合順位で36カ国中14位。スロベニアとリトアニアの間...? 何ともピンときませんが、「もっと上じゃないの?」という気がしますね。そこで、この「幸福度」についてももう少し詳しく見てみましょう。

この調査は、「精神的幸福度」「身体的健康」「スキル」の3つの指標からランキングされています。その中で、日本が一位の指標が「身体的健康」です。優れた医療体制の中で、子どもの死亡率が調査国の中で最も低いそうです。しかし、肥満の割合はわずかに増加しているという結果もありますので、「そのうち中学生になれば、スラッとなつとよ。」と根拠のない楽観視は危険です。しっかりと見守りましょう。

次に紹介する指標は「スキル」。何のことかというところ、学力と「社会的スキル」のことだそう。この分野では日本は12位の中間位です。数学の習熟度と「すぐに友達ができる。」と答えた15歳の割合が順位の元になっています。まあ、これは子どもによって得意不得意もありますから、中間ぐらいでいいでしょう。

さて問題は「精神的幸福度」です。この分野の日本の順位は32位。指標の中で最も低く、子どもを取り巻く大きな課題が指摘されています。この指標は「自分の生活に満足しているか。」という問いの結果と「若者の自殺率」が元になっています。日本のランキングの低さは、人間関係や健康の問題を抱え、精神的負担から心の病気になる若者が増加していることがひとつの原因のようです。

さらに詳しく見ると、興味深い分析がありました。

○男の子は女の子より生活満足度が高い。

○ソーシャルメディアを利用する時間が極端に長いと生活満足度が低い。

そして、もうひとつ私がハッとさせられた結果が...

「親と週一〜二回以上話をする10代の子どもの割合」が平均76%に対して、日本は53%と低かったのです。

子どもが高学年になるころに単身赴任となった私は、土日の部活だけは欠かさず応援に行きましたが、しっかりと向き合って話すことができない親でした。私の子育てで最も反省すべき点です。

これこそ子どもを幸せにするために家庭(親)ができることとしよう。まだ、小学生です。もっと話を聞いてほしいのです。いや、嫌がられても話を仕掛けるべきです。さあ、子どもと向き合いましょ。

夏休み中の事故やけが

夏休み中の子どもの事故や大きなけが、病気などについては、学校にもお知らせいただくと助かります。連絡がつかない場合は、市学校教育課(23-0424)まで。また、学校から緊急に安心・安全メールで連絡することもありますのでよろしくお願い致します。

「学校近況スナップ」

「のぼり旗」 作りました！

今回、学校ののぼり旗を制作しました。
のぼりを設置して行事を盛り上げたり、
校外行事の時の学校の目印にしたりして
永久津小をアピールしていきます。

子どもの活動には貸し出しもしますので、
学校までご連絡ください。



のぼり旗上部のデザインは学校のシンボルの時計台。
真ん中のみどりの屋根は、
若竹のようにすくすく伸びる子どもたち、
左のきいろい屋根は、子どもの成長を温かく照らす保護者、
右のあかい屋根は、学校を支えてくださる情熱のある地域の皆さんを表しています。
そして、もうひとつ永久津らしいデザインが盛り込まれています…。
その答えは、ぜひお子さんとの話題にしてみてください。

日頃の子どもたちの様子やお知らせ、
行事の計画などは学校 HP も見てくださいね。
(URL) <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1408/>